

生徒のキャリア発達をめざす、地域との連携を生かした作業学習のとりくみ ～ キャリア教育の視点を通して ～

1. 主題設定の理由

多くの特別支援学級では、教科学習だけでなく、生活単元学習や作業学習などの領域・教科を合わせた指導を取り入れている。計画的に単元を設定し、目標の設定、活動、振り返りなどのサイクルを行うことで、より高い教育効果をあげることができる。

作業学習は、指導の中にキャリア教育の視点を取り入れやすい。教科学習だけでは指導しきれない自己の生き方に関することや、将来への関心などに直接繋げていくことができる。

効果的にキャリア発達を促すため、学校周辺の地域に存在する資源や人材を活用し、協力しながら作業学習を進めていくことを考えた。地域の協力を得ることで、①教職員と生徒にとどまらず、より多くの人と関わる機会をもつことができる。②事業所の作業内容に合わせて働くことで、できることが増える。③将来の就労や進路に向けて、意欲や関心を高めることができる。④働く場の環境に触れ、自己の生活を社会と結びつけて考えることができる。などの効果が予想された。

生徒が、地域の事業所で作業学習を行う中で、キャリア教育の目標であるコミュニケーションの力や自己の将来への関心を高め、自己有用感を身につけていけると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

仮説① 地域の人材と積極的に関わりながら、計画的・継続的に作業学習に取り組むことで、生徒のコミュニケーション能力や自己有用感などが高まるであろう。

仮説② 作業学習で地域の産業と連携することで、将来の就業や進路選択について関心が高まるであろう。

3. 研究内容

(1) 特別支援学級におけるキャリア教育について講話を受け、理論研修をする。

(2) 鋸南地区の各小中学校の特別支援学級において、地域と連携した実践についてキャリア教育の視点からまとめる。

4. 結論

○年間計画や単元計画を作成し、計画的に指導にあたることで、より多くの学習効果をあげることができる。その結果、生徒の自信が深まり、自己有用感を強めることができた。

○継続的に生徒に活動の振り返りを行わせたことで、社会生活（働く場）で必要な観点や大切なことを繰り返し確認することができた。

○地域の産業や農業という仕事に実際に関わったことでできることが増え、自信となった。

1 研究主題

生徒のキャリア発達をめざす、地域との連携を生かした作業学習のとりくみ
～ キャリア教育の視点を通して ～

2 研究主題設定の理由

多くの特別支援学級では、教科学習だけでなく、生活単元学習や作業学習などの領域・教科を合わせた指導を取り入れている。これらの指導の特色である、実践・体験的な学習や、繰り返しの学習は、机上での学習に課題を抱えている生徒にも理解しやすく意欲ももちやすい。さらに、計画的に単元を設定し、目標の設定、活動、振り返りなどのサイクルを行うことで、より高い教育効果をあげることができる。

「千葉県版キャリア教育の手引き」では、教育活動をキャリア教育の視点で見直すことが必要だと示されている。特に作業学習は、指導の中にキャリア教育の視点を取り入れやすい。教科学習だけでは指導しきれない自己の生き方に関することや、将来への関心などに直接繋げていくことができる。しかし、学校によっては、生徒の実態に合わせた作業内容の設定が困難、予算の確保が難しい、生徒数の減少、などの理由から、効果的な指導が難しい現状もある。

そこで、学校周辺の地域に存在する資源や人材を活用し、協力しながら作業学習を計画的に進めていくことを考えた。地域の事業所での協力を得ることで、①教職員と生徒にとどまらず、より多くの人と関わる機会をもつことができる。②事業所の作業内容に合わせて働くことで、できることが増える。③将来の就労や進路に向けて、意欲や関心を高めることができる。④働く場の環境に触れ、自己の生活を社会と結びつけて考えることができる。など、効果的にキャリア発達を促すとりくみができるであろうと考えた。

本校では、学校の近くで快く生徒を受け入れてくれる花卉農家の協力を得られた。実際に地域の事業所で作業学習を行う中で、生徒がコミュニケーションの力や自己の将来への関心を高め、自己有用感を身につけていけると考え、本主題を設定した。

3 研究の目標

地域の産業や特色を生かした作業学習を通して、特別な支援を必要としている生徒のキャリア発達や、将来の進路選択などの関心を高めるための効果的な指導のあり方を探る。

4 研究の仮説

仮説① 地域の人材と積極的に関わりながら、計画的・継続的に作業学習に取り組むことで、生徒のコミュニケーション能力や自己有用感などが高まるであろう。

仮説② 作業学習で地域の産業と連携することで、将来の就業や進路選択について関心が高まるであろう。

5 研究の内容と方法

(1) 特別支援学級におけるキャリア教育について講話を受け、理論研修をする。

・演題 「特別支援学級におけるキャリア教育」

・講師 南房総教育事務所 安房分室 星野恵美子 指導主事

- (2) 鋸南地区の各小中学校の特別支援学級における、地域と連携した学習についての実践について話し合う。
- (3) 各学校の実態に応じて、地域との連携を生かした実践についてキャリア教育の視点からまとめる。
- (4) 研究のまとめをする。

6 研究の実際

(1) キャリア教育の観点の概要

○キャリア教育の定義

「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（H23中教審）」

○キャリア教育の目標

小学校

- ・自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- ・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

中学校

- ・肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- ・興味・関心に基づく勤労観・職業感の形成
- ・進路計画の立案と暫定的選択
- ・生き方や進路に関する現実的探索

「千葉県版キャリア教育の手引き（H25）」

○「基礎的・汎用的能力」の育成

◇人間関係形成・社会形成能力	〈例〉・他者の個性を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーションスキル ・チームワーク ・リーダーシップ など
◇自己理解・自己管理能力	〈例〉・自己役割の理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機付け ・忍耐力 ・ストレスマネジメント ・主体的行動 など
◇課題対応能力	〈例〉・情報の理解、選択、処理等 ・本質の理解 ・原因の追及 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価、改善 など
◇キャリアプランニング能力	〈例〉・学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択 など

(2) A中学校での、地域と連携した作業学習のとりくみ

①協力を依頼できる事業所の選定

地域の資源を生かした作業学習を始めるにあたり、以下の点に留意して事業所の選定にあたった。

○学校から近く、移動に過度な負担が無いこと。

○継続的に、年間を通して活動が確保できること。できるだけ繰り返しの活動があること。

○気候や地理的条件など、地域の特色を生かした仕事であること。

○特別支援学級の生徒であるということを理解し、受け入れてくれる事業所であること。

これらの要件をできるだけ満たす事業所として、学校周辺で花卉を栽培しているビニールハウスに着目した。所有者の自宅に伺い、作業学習の趣旨や概要を説明すると、快く実習を引き受けてくれた。

実習先

浅間園 (鋸南町)
・カーネーションなどの花卉栽培農家

②時数と作業内容の設定

○毎週月曜日 1, 2時間目の週2時間を作業学習にあてた。

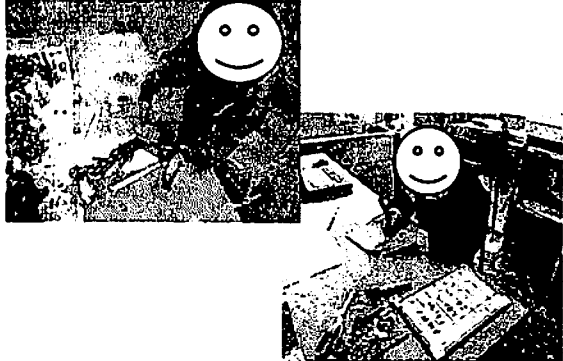
○作業内容は農家の定期的な仕事に合わせて行う。農家の方には月ごとに相談、打ち合わせの時間を設けた。

③地域と連携した作業学習の年間計画の立案

I 初年度

月	回数	単元名・浅間園での活動内容	校内での活動 (教科等との関連)
4月	2	○「 <u>ミシンで製品を作ろう</u> 」	・雑巾の作成(家)
5月	1	○「 <u>カーネーション農家での作業に慣れよう</u> 」 ・カーネーションの出荷準備	・作業学習のオリエンテーション
6月	4	・カーネーションの出荷準備(葉むしり) ・草取り・水やり など	
7月	2	・ビニールハウス内の清掃、草取り・水やり	・お礼状作成(国)
9月	2	○「 <u>カーネーション農家での作業に取り組もう</u> 」 ・水やり	・自己評価カード(作・自)
10月	2	・ストックの苗植え・カーネーションの芽かき	・自己評価カード
11月	2	・カーネーションの出荷準備(葉むしり) ・ストックの摘芯・カーネーションの芽かき	・自己評価カード
12月	3	・カーネーションの出荷準備(葉むしり) ・カーネーションの芽かき	・お礼状作成 ・自己評価カード
1月	2	○「 <u>学習発表会で作業学習の成果を発表しよう</u> 」 ・カーネーションの芽かき	・PPT作成(技) ・プレゼン発表練習(国・自)
2月	4	・カーネーションの芽かき	・発表の練習(国) ・学習発表会での発表(国・自)
3月	0		・お礼状作成(国)

Ⅱ 2年目以降

月	回数	単元名・浅間園での活動内容	校内での活動 (教科等との関連)
4月	2	○「校外作業の準備をしよう」	・映像資料「農家の仕事」視聴 ・オリエンテーション (作年度の様子、持ち物確認など)
5月	4	○「カーネーション農家での作業に慣れよう」 ・カーネーションの出荷準備 (葉むしり)	・自己評価カード (作・自) ・新聞作り (国・社・理)
6月	3	・カーネーションの出荷準備 (葉むしり) ・草取り ・水やり	・自己評価カード (作・自) ・新聞作り (国・社・理)
7月	1	・ビニールハウス内の清掃、草取り ・水やり	・自己評価カード (作・自) ・お礼状作成 (国)
8月		夏期休業	
9月	1	○「バザーでフラワーショップを出そう」 ※③ 単元の指導例 ・水やり	・自己評価カード (作・自)
10月	4	・ストックの苗植え ・カーネーションの芽かき	・自己評価カード (作・自)
11月	2	・カーネーションの芽かき 	・自己評価カード (作・自) ・お店の看板作り (美) ・値札など準備 (数) ・商品準備 (美・数) ・接客練習 (国・自) ・バザー当日お店運営 ・新聞作り (バザー特大号) (国・理・社・自) ※④ 授業実践例
12月	3	・カーネーションの出荷準備 (葉むしり) ・カーネーションの芽かき	・お礼状作成 (国)
1月	2	○「学習発表会で作業学習の成果を発表しよう」 ・カーネーションの芽かき	・パワーポイント作成 (技) ・プレゼン発表練習 (国・自)
2月	4	・カーネーションの芽かき	・発表の練習 (国・自) ・学習発表会での発表 (国) ・新聞作り (国・理・社)
3月	0		・お礼状作成 (国)

③ 単元の指導例

I 単元名「バザーでフラワーショップを出そう」

II 指導目標

- ・バザー単元に見通しをもち、意欲的に活動に参加することができる。
- ・販売会では、積極的に接客をしたり、金銭のやりとりをしたりして自分の役割を果たすことができる。
- ・活動を振り返り、自分の体験や感想をまとめた新聞を作成したり、単元の反省を行ったりすることができる。

III 全体指導計画と評価規準（27時間扱い）

時数	活動内容	評価規準
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> バザーで販売会をすることを 知り、目標をたてる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・日程確認・目標作り ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・バザーまでの日程を知り、どんな活動を行うか理解している。 ・自分で考えたり、例文を参考にしたりして、目標を立てることができる。
2 3 4 5 6 11 12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> バザーへの意識をもち、仕事に 時間いっぱい取り組む。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・浅間園での作業 (水やり、植え替え、ネット上げ など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間いっぱい、仕事に集中している。 ・仕事の内容を理解し、指示通りに活動できている。 ・挨拶や言葉遣いなど、ふさわしい態度で仕事をしている。
7 8 9 10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> バザーの準備活動に、積極的に 取り組む。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・バザーのお店準備 ・看板作り ・新聞や写真の掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を理解し、準備の活動に積極的に取り組むことができている。 ・自分の意見や選択を看板や装飾などに生かしている。
13 14 15 16	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 川崎さんと連絡や相談を行い、 お店の商品準備をすることが できる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・販売の打ち合わせ ・販売する花の受け取り ・花のラッピング、お店の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅間園の方と当日までの日程の確認ができている。 ・花のラッピングを覚え、積極的に行えている。 ・お店の位置や外観を確認することができている。
17 18 19	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 目標を意識して、カーネーショ ンの販売に取り組む。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・カーネーションの販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から声を出してお客さんを呼ぶことができている。 ・お金の受け渡しなどの役割を果たすことができている。
20 21	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 仕事内容を理解し、時間いっぱ い取り組む。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・浅間園にカーネーション提供のお礼を伝えることができている。

2 2	・ 浅間園での作業	・ 時間を意識して、自分の仕事に集中して取り組んでいる。
2 3	・ 借用した物品の返却	
2 4 2 5 2 6 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">新聞を完成させ、単元の反省を行う。</div> ・ 振り返りの新聞作り	・ 見出しの大きな写真や、記事の文章を積極的に決めたり、考えたりすることができている。 ・ レイアウトなどを自分で考えようとしている。 ・ 自分で仕事の順番を決め、新聞を完成させることができている。
2 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">反省を記入し、発表する。</div> ・ 単元の反省	・ 振り返りシートに反省を記入し、発表することができている。

④ 授業実践例

I 題材名 「バザーを振り返って新聞を作ろう」

II 本時の目標

- ・ 自分で作業を選択し、注意点を守りながら積極的に仕事に取り組むことができる。
- ・ 新聞作りの感想を、ルールを守って発表することができる。

III 本時の展開 (23 / 24)

過程目標 (時配)	学習内容と活動 ・ 予想される生徒の反応	形態	○支援 ◎評価 ・留意点	教材・ 教具
本時の学習内容について知ることができる。 (7)	○本時の学習内容を知る。 ○バザー単元の様子を写真や動画で振り返る。 ・ ~の作業は大変だった。 ・ ~の活動は楽しかった。 ・ ~に気をつけて販売した。	個	○ホワイトボードに学習予定を記入し、学習の見通しをもたせる。 ・ 生徒がタブレットを操作し、興味のある写真を選択できるようにする。 ○バザー単元の写真を掲示し、映像が消えても自分の活動が思い出せるようにする。	ホワイトボード タブレット バザーの写真
本時の学習課題を把握することができる。(3)	○製作途中の新聞を見て、本時にどのような活動をするか考える。 ○学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">バザーの振り返り(新聞、反省)を完成させよう。</div>		・ 前時までの活動を思い出させ、あと何をすれば完成するのか考えさせる。 ・ 学習課題を読み上げさせる。	製作中の新聞
自分で今日の仕事の順番を	○今日の作業では、どのような順番で仕事をすすめるか、考える。		・ 終了時間を設定し、時間を意識して活動が行えるようにする。 ・ それぞれの作業の手順を確認し、	仕事内容確認ボード

<p>決め、新聞を完成させることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真から先に印刷する。 ・文字を書いたから、印刷する。 		<p>主体的に取り組めるようにする。</p>	<p>タイマー</p>
<p>(30)</p>	<p>記事仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下書きの終了した文章を黒ペンでなぞり、消しゴムで鉛筆の文字を消す。 ○黒板に掲示してある新聞に文章部分を貼り付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・作業の注意点は、作業場所に掲示しておく。 	<p>記事</p>
	<p>写真の印刷・貼り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空きスペースに貼る写真をタブレットから選択し、印刷する。 ○写真を紙から切り取り、貼り付ける。 ○必要に応じて、コメント、飾りなどを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことがあれば相談する。 ・できあがったら報告する。 ・機械を使うときは先生の許可を得る。 など 	<p>タブレット</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○完成した新聞を黒板に貼り付ける。 ○ルールの確認をする。 <p>大きな声で発表する。 姿勢を正して発表する。 他の人の発表をよく聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◎自分で決めた作業に、注意点を守って積極的に取り組むことができたか。(新聞・観察) 	<p>プリンター はさみのり</p>
<p>完成した新聞の感想を伝えることができる。</p> <p>(5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○完成した新聞を見て、感想を発表する。 ・すごく良い新聞ができた。 ・うれしい。 ・自分で写真を選んで楽しかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「発表時の約束」カードを提示し、確認してから発表に取り組むようにする。 	<p>発表時の約束カード</p>
<p>片付けを行うことができる。</p> <p>(5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○使った道具について、片付けを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な感想が難しいときは、教職員が発問し、細かい点まで聞き出せるようにする。 ・教職員の評価も伝え、達成感や満足感が味わえるようにする。 ◎できあがった新聞を見て、ルールを守って感想を発表することができたか。(観察・発表) ○教室の掲示を見て、生徒が片付けられるようにしておく。 	

⑤生徒の変容

I 中学3年生徒Aさん(2015.5月～2016.2月にかけて校外作業)

<p>年度当初の実態</p>	<p>〈人間関係形成・社会形成能力〉友人とのコミュニケーションは特定の生徒に偏っており、会話もテレビの幼児向け番組などの内容が主である。周囲から認められた経験が少なく、集団に参加したいという思いはあるが、不安が強い。敬語を使うことが苦手で、相手のことを考えない発言をしてしまうことがある。</p> <p>〈自己理解・自己管理能力〉環境の変化に弱く、新しい人や場に慣れるのには時間がかかる。通常学級の生徒の反応を過剰に意識し、周囲と違う活動を嫌がる。嫌なことがあると感情が乱れ、活動に取り組めなくなることもある。信頼できる相手には相談することができる。</p> <p>〈課題対応能力〉1、2年次、作業学習は校内での野菜作りなどを経験している。経験したことのない活動には強い抵抗感を示す。手指の動きはぎこちなく、はさみなどの道具を上手に扱うことは難しい。自分の能力を過大評価したり、過小評価してしまったりすることが多い。</p> <p>〈キャリアプランニング能力〉 将来はテレビに出たい、などの夢をもっている。進路は普通高校を希望。</p>
<p>指導の経過</p>	<p>年度当初は校外での作業学習を嫌がっていた。しかし次第に活動内容がわかり、手順もつかめてくると、落ち着いて活動に取り組めるようになった。特に出荷準備の葉むしり、カーネーションの芽かきは自信をもって取り組めるようになった。しかし、失敗も多く、農家の方に報告しなければならない場面が何度もあった。必要な言葉遣いや挨拶は少しずつ自分からできるようになっていった。</p> <p>以前、農家の方が自分の曾祖母と懇意にしていたことをきっかけに、積極的にコミュニケーションを取ることが増えた。地域の話や、校内の行事などのことを、楽しそうに話す場面が見られた。野菜などをいただき、丁寧に敬礼をする場面も見られた。</p> <p>2月の交流学習会に向けてパワーポイントを作成し、大勢の前で、一人でプレゼンテーションを行うことができた。この発表は校長や浅間園の方にも見てもらうことができ、多くの方に称賛の言葉をもらった。学期末にはお礼状を書き、自分の言葉で感謝の気持ちを伝えることができた。</p>
<p>変容</p>	<p>〈人間関係形成・社会形成能力〉年度当初のように作業を嫌がったり、反抗をしたりする様子は無くなり、担任や農家の方にも正しい言葉遣いや態度で接することができるようになった。人との関わりで良くない面も、認めることができるようになった。</p> <p>〈自己理解・自己管理能力〉繰り返しの活動は自信をもって取り組めるようになった。強がらずに自分の手指の不器用さを自覚し、丁寧に仕事を行う様子も見られた。</p> <p>〈課題対応能力〉パワーポイントでプレゼンテーションをしたことは大きな自信になり、卒業式などの緊張する場面でも堂々と振舞うことができた。</p> <p>〈キャリアプランニング能力〉仕事の大変さを知り、農家の方を尊敬する様子も見られた。スライドの作成時には、担任と働くために必要な力について話し合い、「集中力」「体力」「器用さ」などが必要だと気付いた。進路については保護者、担任とよく話し合った結果、将来の就労を見越して、特別支援学校の職業コースを受検した。</p>

Ⅱ 中学2年生徒Bさん（2016.5月～2017.7月までの実施）

<p>入学時の実態</p>	<p>〈人間関係形成・社会形成能力〉敬語はほとんど使えず、返事も「うん」と答えてしまうことが多かった。しかし社交的な部分もあり、知らないおとなとも物怖じせずに会話をしたり、慣れない場所にもすぐに適応できたりする面がある。</p> <p>〈自己理解・自己管理能力〉体力や集中力は長時間持続することが難しい。書字など苦手な活動には前向きに取り組めないことが多い。自分の興味のある活動には意欲的に取り組むことができる。自分を正しく評価することが難しい。</p> <p>〈課題対応能力〉小学校の特別支援学級では生活単元学習などで様々な活動を体験しているが、道具の使用などは不器用で、細かな仕事は苦手になっている。</p> <p>〈キャリアプランニング能力〉将来は父親と同じ仕事をしたい、(船舶関係)との希望を持っている。入学直後のため、高校はどこに進学するか未定。</p>
<p>指導の経過</p>	<p>作業学習にはスムーズに参加できたが、指示通りに仕事をするのが難しく、集中力も15分程度しか持続しなかった。目を離すと葉をむしりすぎてしまったり、つぼみを折ってしまったりすることもあった。また、その様な時に、素直に言い出せず隠してしまうこともあった。そこで、集中力を持続させるために、タイマーを使用して細かく仕事の時間を分けたり、毎回仕事の成果を計量して前回と比較したりするなどの手だてを行った。農家の方は、花を製品として扱うことの大切さを繰り返し伝えてくれた。</p> <p>定期的に作業学習の様子を載せた新聞を校内で作り、教室に掲示した。理科や社会科と関わる記事を作成することができた。</p> <p>バザーでのとりくみでは、看板作りやラッピングを教職員とともにいき、当日は6800円を売り上げた。多くの人から、店当番の様子や製品の美しさを褒められた。</p> <p>学習発表会では、iPadを持ちながら、10分程度のプレゼンテーションを行うことができた。発表の様子は浅間園の方や、校長など、多くの方から称賛を受けた。</p> <p>新年度になり、作業に参加する生徒が3名に増えた。経験者ということで、「作業リーダー」として時間の管理や、あいさつの号令、作業指示などの役割を行っている。</p>
<p>変容</p>	<p>〈人間関係形成・社会形成能力〉挨拶を大きな声で行ったり、敬語を使用して会話をしたりできるようになった。作業リーダーとして後輩に指示を出すことができるようになった。</p> <p>〈自己理解・自己管理能力〉自身の苦手な部分を理解し、丁寧に仕事を行うことを意識するようになった。仕事の見通しがもてるようになったことや、後輩ができたことで、率先して仕事に取り組む姿勢が見られるようになった。最近では、教科学習で苦手な学習にも逃げずに取り組めるようになった。評価表では、逆に評価が下がり、自分を冷静に見られるようになった。</p> <p>〈課題対応能力〉ミスしたときの報告を確実にできるようになったが、指示通りに作業を進めることはまだ難しい。バザーや学習発表会での発表を通して、多くの方に称賛を受けたことで、行動に自信が見られるようになった。</p> <p>〈キャリアプランニング能力〉高校に進学したいとの意欲をもち、学習に取り組めるようになった。農業の仕事を経験したことで、職場体験学習の事前指導などにも積極的に取り組むことができている。農家の方の大変さを知り、発表に生かすことができた。</p>

7 研究のまとめ（結論）

仮説①について

- 実践的に、あいさつや敬語などの社会で必要となるコミュニケーションを学ぶことができた。失敗したら報告する、わからないことがあったら質問する、協力して仕事をする、といったソーシャルスキルの面でも成長がみられた。
- 年間計画や単元計画を作成し、計画的に指導にあたることにより、多くの学習効果をあげることができた。その結果、生徒の自信が深まり、自己有用感が強まった。学習活動など、他の活動にも良い影響が見られた。年間の計画を立てることは地域の方との連携を図る上でも必要であった。
- 花卉農家は年間の活動がルーティンとして確立しており、継続して実習を行っていくことで仕事への見通しを持ちやすくなり、自信をもって活動できることが増えた。特別支援学級の生徒にとっては、年間を通して活動に参加する方が効果は高いと思われる。

仮説②について

- 継続的に生徒に活動の振り返りを行わせたことで、社会生活（働く場）で必要な観点や大切なことを繰り返し確認することができた。
- 定期的にお礼状を書く活動を取り入れたことで、農家の人の生活について考えること、実習を受け入れてくれることについての感謝の気持ちを考える機会となった。
- 学習発表会でのプレゼンテーションの際、生徒自身の考えを盛り込むことで、「働く」ということや自分が将来どのような仕事をしたいかを考える機会となった。
- 地域の産業や農業という仕事に実際に関わったことでできることが増え、自信となった。特別支援学校職業コースに進学した生徒は、経験があるという理由から、「農業・園芸コース」を選択した。

8 今後の課題

- 地域には他にも効果的な作業学習などができる資源が存在していると思われる。それらを開拓し、計画的な学習の実施に結びつけられるとよい。ただし、条件に合う事業所を見つけることは難しい。また、事業所の都合で連携した学習が突然実施できなくなることも考えられる。活動のストックを持っておくことが必要。
- 活動内容について、生徒が仕事を行えるよう、手立てを準備しておくことが必要。
- 作業する仕事も製品も全て事業所の持ち物であることから、販売会などの活動に繋げにくい。金銭のやりとりの方策を考えていく必要がある。
- 生徒の3年間を見通した、より効果的な年間計画づくりが必要。

9 文献、資料

- ・「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（H23中教審）」
- ・「千葉県版キャリア教育の手引き（H25）」

資料

小学校のキャリア教育の視点

<p>キャリア教育の目標</p>	<p>○自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ○夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成</p>	<p>汎用的能力 ◇人間関係形成・社会形成能力 <例>・他者の個性を理解する力・他者に働きかける力・コミュニケーション・スキル ・チームワーク・リーダーシップ等 ◇自己理解・自己管理能力 <例>・自己役割の理解・前向きに考える力・自己の動機付け・忍耐力 ・ストレスマネジメント・主体的行動等 ◇課題対応能力 <例>・情報の理解、選択、処理等・本質の理解・原因の追究・課題発見・計画立案 ・実行力・評価、改善等 ◇キャリアプランニング能力 <例>・学ぶこと、働くことの意味や役割の理解・多様性の理解・将来設計・選択・行動と改善等</p>	
<p>キャリア教育の目標</p>	<p>低学年 ・小学校生活に適應する ・身の回りへの事象への関心を高める ・自分の好きなことを見つけて、のびのびと活動する ◆ 自分の好きなこと、得意なこと、成長することを喜び、様々な活動への挑戦・関心を高める力が、意欲を自ら発して活動できる</p>	<p>中学年 ・友だちと協力して活動する中でかかわりを深める ・自分の持ち味を発揮し、役割を自覚する ◆ 友達の持ち味を知り、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚することができるようになる</p>	<p>高学年 ・自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得する ・集団の中で自己を生かす ・社会と自己のかかわりから、自分の夢や希望をふくらませる ◆ 高学年から初めて自覚する、自己責任を担い活動する。そのことが集団の中で役立つ喜びや自己の成長につながるようになる</p>
<p>目標</p>	<p>○みんなのために働く経験をを通して、働くことへの関心を高める ○きまりを守って、生活したり、遊んだりできる 【例】☆係 ☆日直 ☆清掃 ☆給食当番 ☆朝の会・帰りの会 ☆異年齢集団活動 ☆飼育・栽培活動</p>	<p>○学校生活の様々な場面で、自分たちで決まりを作って守る力を育てる 【例】☆係 ☆日直 ☆清掃 ☆給食当番 ☆朝の会・帰りの会 ☆異年齢集団活動</p>	<p>○自ら課題や問題を見付け、自分たちで解決できる態度を持たせる 【例】☆係 ☆日直 ☆清掃 ☆給食当番 ☆朝の会・帰りの会 ☆異年齢集団活動</p>
<p>基礎</p>	<p>○生活科：自分自身や身近な人々、社会に対する関心を高めながら、自立への基礎を養う 【例】☆学校たんけん ☆まちたんけん ☆お手伝い大作戦 ☆大きくなったぼく・わたし ☆げんきにそだてーぼく・わたしのやさしい ☆ようこそあそびランドへ（幼稚園児・保育園児との交流）など ○その他の教科：グループ活動など共同的な学習活動を通して社会性を養う ・好きなことを見付け、一生涯取り組む姿勢を育む</p>	<p>○各教科での学習が、日常生活や将来の生き方と関連していることに気付かせる機会を積極的に設け、学ぶ意欲につなげる 【例】☆「まちたんけん」「昔の暮らし」「工場・お店見学や調査」「消防署や警察で働く人たち」「水道」（社会） ☆大きくなってきた私の体（体育） ☆私の研究レポート（国語）</p>	<p>○各教科での学習が生活や環境と関連することの理解を深め、互いに学び合い高め合える態度を育てる 【例】☆伝記を読み、自分の生き方について考える（国語） ☆歴史と国民生活との関連について理解する（社会） ☆電気の働きを利用した道具が生活を支えていることを理解する（理科） ☆自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付く（家庭）</p>
<p>態度</p>	<p>○約束やきまりを守り、自分がやらなければならないことをしっかりと行うことができる 【育てたい力の例】☆よいと思うことや自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行い、素直にのびのびと生活する ☆友だちと仲よくし、助け合う ☆働くことよさを感得して、みんなのために働く</p>	<p>○身近な人と協力し、助け合う体験を大切にする 【育てたい力の例】☆自分の特徴に気付き、よい所を伸ばそうとする ☆友達や家族など身近な人々の立場に立って考えることの大切さが分かる ☆集団の規則や遊びのきまりの意義を自覚し、集団での目標達成にかかわり、共同作業ができる</p>	<p>○自己肯定感をなくくみ、未来への夢や希望を持つことができる心を育てる 【育てたい力の例】☆思いやりの気持ちを育てて共に生きようとする ☆自己に対する肯定的な自覚を深め、未来への夢や希望を持つ ☆集団生活の中での自分の役割や責任を理解して行動し、全体の向上に役立つとする態度を持つ</p>
<p>活動</p>		<p>○探求的な活動を通して、地域の人々の暮らしや生き方を学習機会を設ける ○学び方やものの考え方を身に付けるとともに、共同的に取り組むことができるようにする</p>	<p>○社会に生きる一員として何をすべきか考えられるような探求的な活動を取り入れる ○地域社会にかかわる喜びやものづくりの楽しさを実感できるように体験活動を取り入れる</p>
<p>特別</p>	<p>○活動する楽しさを体感させ、仲よく助け合おうとする態度の基礎を培う 【例】☆縦割り行事 ☆学級集会 ☆1年生を迎える会 ☆目標決め ☆学期末などの振り返り</p>	<p>○協力し合える人間関係を築く態度を育てる ○自発的な活動への欲求の高まりなどを積極的に生かす 【例】☆縦割り行事 ☆県の仕事発表会 ☆学級集会 ☆所属クラブの決定 ☆地域清掃</p>	<p>○異年齢集団の活動に参画して参加し、高学年としての役割と責任を果たそうとする態度を育てる ○中学校での生活や将来の生き方を話し合うなどの活動を積極的に取り入れる 【例】☆縦割り行事 ☆学級活動計画の作成 ☆児童会集会 ☆クラブ活動の運営 ☆ボランティア活動</p>
<p>国際</p>			<p>○日本と外国との言語や文化の比較を通して、多様なものの見方や考え方があることを実感できるように体験的なコミュニケーション活動を取り入れる</p>

作業実施日のスケジュール

○毎週月曜日 1, 2時間目

8:00 登校

~8:10 朝読書

8:10~ 健康観察
朝の学活

※ 学活内「先生の話」で、作業についての注意点や今日の活動内容について説明

8:20 着替え

8:25 昇降口集合、出発

8:30 浅間園着
挨拶
活動開始（休憩含む）

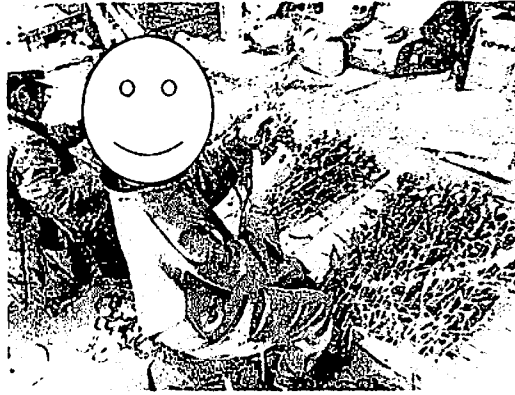
10:00 作業終了
反省

10:10 浅間園発

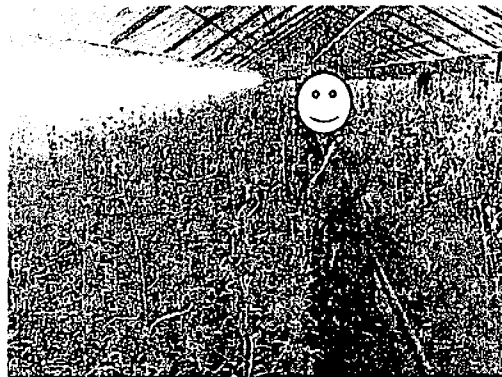
10:15 学校着
教室で作業の評価表記入

作業学習での活動内容について

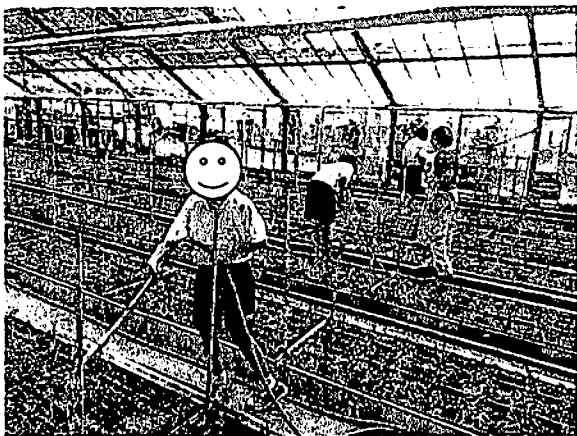
出荷準備 (葉おしり)



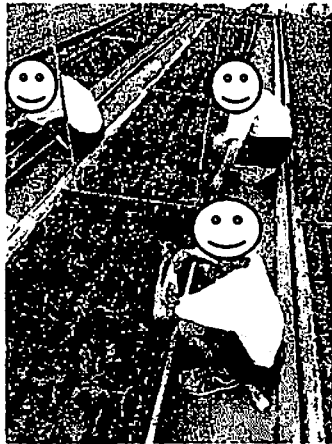
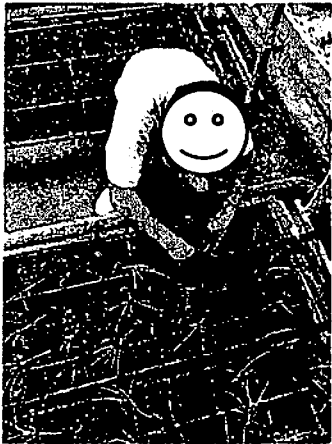
芽かき



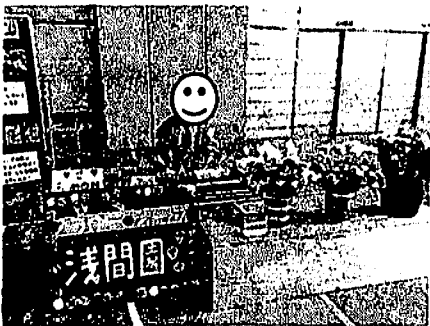
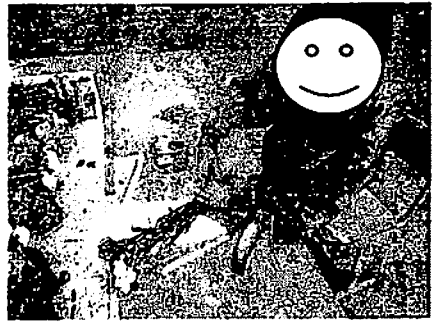
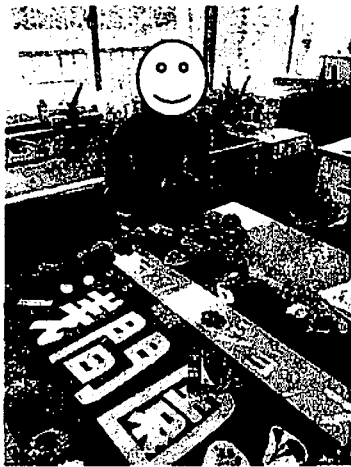
水やり



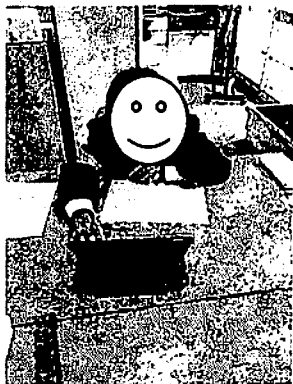
その他



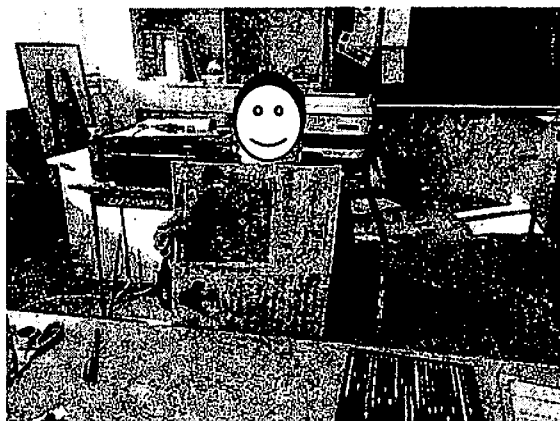
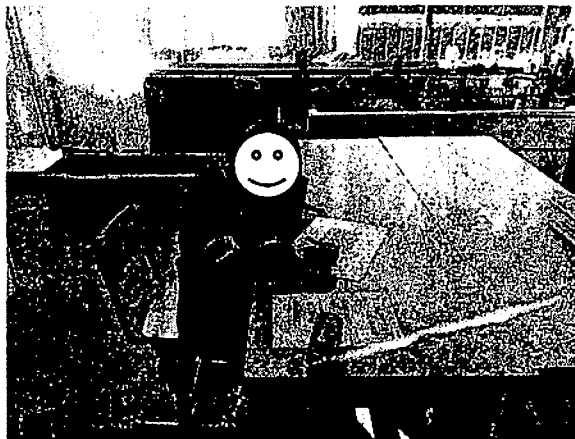
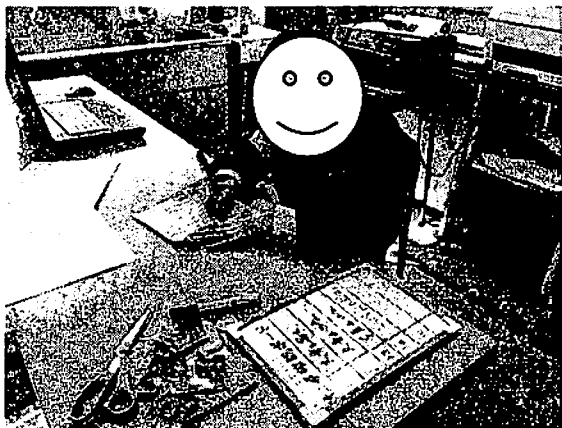
ラッピング、バザー出店



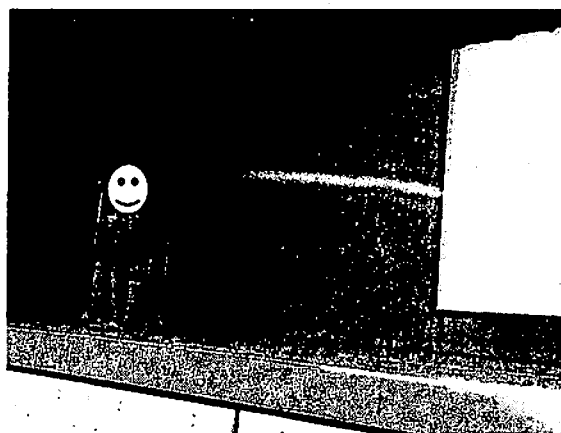
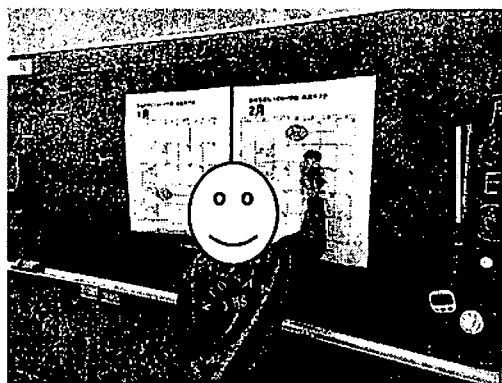
お礼状作成



新聞作り



合同学習会での発表



作業評価表

作業評価表

1. 今日の仕事内容 5月23日月曜日

花の葉をはとりました。

2. 自己評価

(1:全然できなかった 2:あまりできなかった 3:なんとかできた 4:大体できた 5:完璧)

- (1) あいさつ、返事は大きな声でできましたか。 1 2 3 4 5
- (2) 言葉遣いはいいにできましたか。 1 2 3 4 5
- (3) 身だしなみは作業にふさわしく整えましたか。 1 2 3 4 5
- (4) 説明などをよく聞けましたか。 1 2 3 4 5
- (5) わからないことは自分から質問できましたか。 1 2 3 4 5
- (6) 言われたとおりに仕事ことができましたか。 1 2 3 4 5
- (7) 時間いっぱい集中して仕事ことができましたか。 1 2 3 4 5
- (8) 効率的に仕事ができるように工夫しましたか。 1 2 3 4 5
- (9) 注意されたことは素直に聞くことができましたか。 1 2 3 4 5
- (10) 準備や後片付けは自分から手伝うことができましたか。 1 2 3 4 5

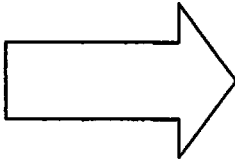
合計 42 点

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

集中して仕事ができるようにしたいです。

お返事は、4月23日のお返事は、お返れ様でした。また次回も頑張ります。

2016. 5 / 23 (月)



実態と違って高い自己評価。注意されたことをあまり評価表に反映していない。

作業評価表

1. 今日の仕事内容 2月6日月曜日

おきほはとり

2. 自己評価

(1:全然できなかった 2:あまりできなかった 3:なんとかできた 4:大体できた 5:完璧)

- (1) あいさつ、返事は大きな声でできましたか。 1 2 3 4 5
- (2) 言葉遣いはいいにできましたか。 1 2 3 4 5
- (3) 身だしなみは作業にふさわしく整えましたか。 1 2 3 4 5
- (4) 説明などをよく聞けましたか。 1 2 3 4 5
- (5) わからないことは自分から質問できましたか。 1 2 3 4 5
- (6) 言われたとおりに仕事ことができましたか。 1 2 3 4 5
- (7) 時間いっぱい集中して仕事ことができましたか。 1 2 3 4 5
- (8) 効率的に仕事ができるように工夫しましたか。 1 2 3 4 5
- (9) 注意されたことは素直に聞くことができましたか。 1 2 3 4 5
- (10) 準備や後片付けは自分から手伝うことができましたか。 1 2 3 4 5

合計 30 点

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

言葉をよくきく

お返事は、2月6日のお返事は、お返れ様でした。また次回も頑張ります。

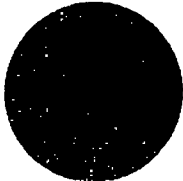
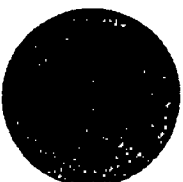
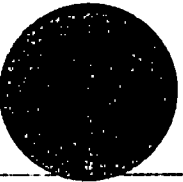
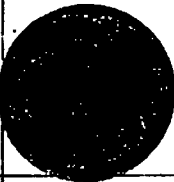
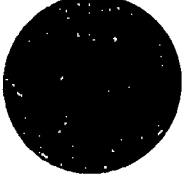
2017. 2 / 16 (月)

低くなった自己評価。農家の方に注意されたことを評価表に反映できている。

芽かき 記録表

さぎょうがくしゅう 作業学習 め 芽かき きろくひょう 記録表

しめい 氏名 _____

日付	さぎょう 作業した時間	とった芽の量	張りシール
12/12	(30-20-20) 70分	600g (グラム)	
12/19	30-20-15 65分	750g (グラム)	
1/16	30-20-15 65分	750g (グラム)	
2/30	30-20-15 65分	400g (グラム)	
2/20	30-10 40分	360g (グラム)	
/	分	g (グラム)	
/	分	g (グラム)	

まいかいおも きろく ぜんかい きろく こ
 ※毎回重さを記録しよう。前回の記録を超えられるかな？

作成した作業新聞



十重屋平人財部...
2010.6.2

カネシマ
新聞
第1号



カネシマ新聞
第2号





5月...
新聞



バザー特大号

当日



準備





新聞

カネシマ新聞
第1号



フラワー
バザー
準備表

まよさの

1月...
新聞

生徒のコメント (次回気をつけること)

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

おらないようにきをつけて

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

集中して仕事ができるようにしたいです。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

かっでにすすまない
(ロキリ=)

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

へんじをしっかりと

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

集中してがんばる。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

てきとりにしたい

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

シートにかる。
ごめん

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

ゴミを捨てたからとるゴミに「し」ともい
する。まじかる。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

あしたお花をかきあげてうりませう。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

じかん、はいがとぼろこと。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

ながさをそろえる。

3. 次回気をつけることを記入しましょう。

詩を広く書く。

A小学校

基礎的・汎用的能力	実践
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・学級・交流学級で，教科・道徳・特別活動での話し合い活動 ・学級・交流学級での係や当番活動 ・学校内の委員会活動やクラブ活動 ・合同学習会での活動や交流遊び，役割分担 ・学習発表会・卒業を祝う会での活動 ・<u>地域の方との交流…祭りばやしの太鼓を教わる</u> ・縦割り4色グループでの各種大会や遠足，交流給食・遊び
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング ・毎日の日記 ・各行事等での個のめあてを決定し，事後に振り返りをする ・毎日の掃除，係や当番活動の振り返り
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科や理科の学習での実習・実験計画と実践 ・国語・社会・総合的な学習の時間等での調べ学習，パソコンを活用した情報の収集，まとめ
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・道徳・特別活動で，学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ・社会科・総合的な学習の時間等での校外学習

実践例

「地域の方に祭りばやしの太鼓を教わって発表しよう」（人間関係形成・社会形成能力）

特別支援学級の子どもたちは，毎年2月の合同学習会（学習発表会）に向けて，地域の方に祭りばやしの太鼓を教えていただきながら練習し，その成果を発表している。

昨年度はどの子どもも初心者だったので，太鼓のバチの持ち方から教わった。初対面の講師に始めは緊張していたが，練習の機会を重ねるごとに親しみを持って挨拶したり会話をしたりと関わっていけるようになっていった。

基本的な平群ばやしの「馬鹿ばやし」という演目だったが，リズムカルにたたけるようになるまでには個人差があり，3人のリズムが合うまでには時間がかかった。講師が優しく根気強く教えてくださり，次第に音が合うようになってくると，子どもたちもその気持ちよさを感じ，更に頑張ろうという意欲が沸いたようだった。

学習発表会当日も笛を吹きに駆けつけてくださり，一緒にステージで発表した。講師に助言してもらった説明も上手に話すことができた。太鼓の演奏も上手くできて，見ていた方々にアンコールをもらってまた演奏したり，拍手をもらったりと達成感を味わうことができた。

後日，講師へのお礼の手紙を書いて渡し，来年も…という意欲を持ったようだった。地域の方々と関わる機会が少ないので，地域や社会と関わる良い機会となっている。

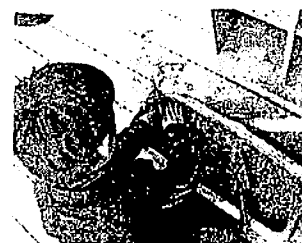
B 小学校

基礎的・汎用的能力	実践
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や道徳、特別活動での話し合い活動 ・学級、交流学級での係、当番活動 ・学校の委員会活動、クラブ活動 ・合同学習会での活動や交流遊び ・学習発表会、卒業を祝う会での活動 ・縦割り班での遠足や給食、遊び
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間での価値の確立 ・SST（ストレスマネジメント等） ・ノーチャイム（時計を見て行動する）
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習での実習計画 ・生活単元学習の制作活動での計画と実施 ・国語や総合的な学習の時間等でのインターネットを活用した情報の選択
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・将来設計 ・社会科や総合的な学習の時間等での校外学習 ・ミニトマトの栽培、リース作り

実践例

「ミニトマトの栽培、リース作り」(キャリアプランニング能力)

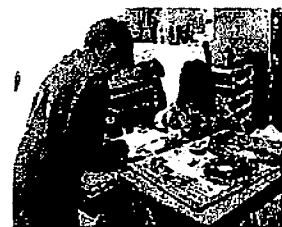
特別支援学級の子どもたちでミニトマトの栽培を行った。栽培するにあたり地域の方から苗をいただいた。子どもたちは協力して、毎日欠かさず水やりをしたり、肥料を与えたりした。日々の観察から植物が生長する様子や収穫するために必要な仕事があるということを知った。



〈苗植え〉

収穫したミニトマトは、その場で味わい、育てたことに対する達成感も得ることができた。また、家族や校内の職員へミニトマトを手渡すことで、責任を持って育てたことに対し賞賛の声をもらった。その言葉が子どもたちの意欲を高め、励ましにもなったと実感する。

収穫の時期が終わり、枯れ始めたミニトマトのつるをリースの土台にした。お楽しみ会の飾りとして一人ひとりがリースのデザインを考え、必要な材料を用意し、制作した。



〈リース作り〉

お楽しみ会では、司会やゲームなど一人ひとりに仕事を割り当てることで、楽しく充実した時間となった。

学習の締めくくりとして、地域の方へリースと手紙で感謝の気持ちを伝えた。

栽培から制作までの過程で、キャリアプランニング能力以外にも多くのキャリア発達につながる活動に触れることができた。今後も全教育活動の中でキャリア発達に関わる活動を計画的、継続的に進めていく。

基礎的・汎用的能力	実践
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や道徳、特別活動、生活単元学習での話し合い活動 ・学級・交流学級での係り、当番活動 ・学校の委員会活動、クラブ活動 ・縦割り班での遠足や給食、仲良し遊び ・合同学習会での事前準備や活動、交流遊び ・<u>地域の方との活動（地域の方から学ぶ・地域を知る学習・磯遊び・ひらきパーティー）、振り返りとお礼の手紙を書く。</u> ・学習発表会、卒業を祝う会での活動（校内発表会に向けての招待状作成や講演のお知らせをする）
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング ・予定黒板を見て行動する。 ・生活単元学習での活動（遊び等の活動の計画、活動実践 振り返り）
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活単元学習での制作活動（計画・実践・振り返り） ・制作したものの頒布活動
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・かがやき畑での野菜の栽培（ミニトマト・トウモロコシ・エダマメ・さつまいも・いちご） ・植物栽培（ひょうたん・ほうせんか・ひまわり等） ・生活科や社会科、総合的な学習の時間等での校外学習

実践例

「磯遊び体験」（人間関係形成・社会形成能力）

事前学習で、水に入る時の約束・集団行動の約束などの話し合い活動を行う。話し合いでは、高学年がリーダーシップをとり、下学年の世話をする意識をもたせるよう場を設定した。

地域の方が事前に海岸掃除をして下さったり、スイカ割りの準備や海の食品を用意して下さったり、子どもたちのために活動をして下さった。

子どもたちの中には、海に入ったことがない者もいたので、初めての体験や食物に触れ大変喜び、感動を体いっぱい表現していた。

事後活動として、四つ切り画用紙に写真を貼り、コメントを記入した『アルバム』を作成した。そして、楽しかった思いと感謝の気持ちを入れた「お礼の手紙」を全員が作成した。「丁寧に書く」「お礼の言葉を入れる」「楽しかった体験を入れる」など一人ひとりに支援をしながら、心のこもった手紙を書くように指導した。

2月には、地域の方が魚の開きやもちをたくさん持ってきて下さった。七輪を使っての魚焼き体験、校内の先生方へ魚の開きを配りながら日ごろの感謝の気持ちを伝える活動を行うことができた。

地域の方へ感謝の手紙を届ける活動を継続して行い、交流を深めることができ、海の町ならではの体験を行うことができた。

D中学校

基礎的・汎用的能力	実践
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・学級、交流学級での話し合い活動 ・合同学習会での活動、リーダーとしての活動 ・宿泊学習・修学旅行での班別行動 ・委員会、係活動 ・部活動
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキル・トレーニング ・家庭学習ノート、定期テストでの家庭学習計画 ・毎日の生活の記録 ・部活動
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習での地域の素材を使った作品の作製・頒布 ・作業学習で季節に応じた作品の作製・頒布 ・総合学習等での資料やPCを使った情報の収集
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動（学ぶこと・働くことの意義や役割の理解） ・進路学習

実践例

「地域の素材を使った作品の作製・頒布」（人間関係形成・社会形成能力）

本校の特別支援学級では、作業学習を週2時間行っている。作業学習で、季節に応じた作品を製作、校内・地域へ頒布している。

作業学習の内容は、年間を通じて、地域の貝殻を使ったマグネットを作製している。台座の木材は、地域の建設業の人からいただいた。飾る貝殻は、地域の海岸から採取している。作品を製作する時に気をつけていることは、①同じ品質のものを作る。

②長い時間の使用に耐えるものを作る。③家に飾りたいと思う作品を作る。である。それに加えて、本年度では、作成者の個性を生かした作品も1時間に1つ作ることにした。このマグネットを、はじめに校内の先生方に頒布し、次に校内文化祭や地域の祭りで、地域の人に頒布している。頒布するときには、作り方を聞かれたり、作るときの苦労したことを聞かれたりして、それに答えることで、コミュニケーションの必要性や、わかりやすい説明の仕方が大切であることがわかった。きれいにできた作品には、買ってくださった人から褒められ、頑張ったことへの達成感が得られた。

季節に応じて、地域の松毬を使ったリース、稲わらを使った正月飾りのリースを作製・頒布している。また、毎年卒業生へ、記念品として作業学習で作製した作品を贈って感謝されている。

